

平成29年度 第1回 風力発電部会
議 事 録

1 開催日時 平成29年6月13日(火) 10:00～11:20

2 開催場所 宇和島市役所6階 602会議室

3 出席者

(1) 委員

宇和島市産業経済部 部長 上田 益也

宇和島市市民環境部 部長 山田 喜昭

宇和島市産業経済部農林課 課長 和田 恵朗

宇和島市市民環境部生活環境課 課長 黒田 和哉

宇和島市津島支所 支所長 山田 隆

株式会社ガイアパワー 執行役員 陶久 晴岳

JR東日本エネルギー開発株式会社 取締役事業開発部長 青木 隆昌

えひめ南農業協同組合 総務部総務課 課長補佐 篠塚 智

南予森林組合 参事 堀田 恵司

畑地財産区管理会 会長 山中 均

御楨地区自治会 代表 永樂 久喜

上楨地区自治会 代表 亀岡 剛

(2) 事務局

宇和島市市民環境部生活環境課再生エネルギー対策室 室長 土居 友治

// 担当係長 松本 浩二

(3) 関係者

株式会社ガイアパワー 開発営業部長 静 秀彰

JR東日本エネルギー開発株式会社 事業開発部 マネージャー 齋木 雄一

4 議事次第

(1) 部会長選任

(2) 横川正木ウィンドファームの事業提案について

- ・意見交換(事業全体)
- ・提案書の各項目の協議

(3) 今後のスケジュール

5 配付資料

資料1 宇和島市農山漁村再生可能エネルギー導入促進基本計画と提案書の比較表

資料2 環境影響評価法について

資料3 平成29年度 風力発電部会名簿

資料4 榎川正木ウィンドファーム シーメンス製風車

騒音・低周波音、景観の予測結果について

(株式会社ガイアパワー・JR東日本エネルギー開発株式会社)

6 協議事項

	1 開会
事務局	開会を宣言。 前回の協議会で設置要項第2条第3項により、風力発電部会を置くことを了解いただき、今回、第1回の開催となる。本日、是澤委員が欠席であるが、風力発電部会所属委員13名のうち12名の出席を報告。 配付資料について説明。
	2 協議事項
	(1) 部会長選任
事務局	部会における協議をスムーズに進めるため、部会長選任を提案。
全委員	異議なし。
事務局	部会長選任について、自薦他薦その他どのような方法で決定するか意見を求める。
委員	事務局一任。
事務局	事務局一任の意見をいただいた。事務局案として、市民環境部長の山田喜昭委員に部会長をお願いしたいが、いかがか。
全委員	異議なし。
事務局	異議なしとのことであるので、山田喜昭委員を風力発電部会の部会長と決定する。
山田部会長	就任あいさつ。
	(2) 榎川正木ウィンドファームの事業提案について 【資料1・2】
山田部会長	榎川正木ウィンドファームの事業提案について、事務局に説明を求める。

事務局	<p>前回の協議会において、榎川正木ウィンドファームの事業概要について陶久委員から説明を受けている。その内容について、委員一人一人から質問・意見等を順番にいただき、協議を進めていただきたい。</p>
山田部会長	<p>前回の協議会で事業者から説明があった内容について、各委員から一言ずつ発言を求める。篠塚委員からお願いしたい。</p>
篠塚委員	<p>JAの代表として出席しており、正直風力発電についてよく把握できていない。JAとして協議会に対して、どういう貢献ができるかを考えている。</p>
事務局	<p>農業に関係する団体ということでご出席いただいている。農業者に関わりの深いえひめ南農協さんから農業者に対する貢献策について、ご意見・ご提案をいただきたいと考えている。</p>
山田部会長	<p>次に堀田委員にお願いします。</p>
堀田委員	<p>森林整備に対し、助成をしていただくことはありがたいと思っている。市からの補助も出ているが、昨年度は不足していた。事業については、水や環境が変わるようなことはしてほしくないと考えている。</p>
山田部会長	<p>環境については、今後協議の中で出てくると思う。永樂委員にお願いします。</p>
永樂委員	<p>御嶺地区自治会代表として参加している。御嶺地区においては、当初は騒音や低周波音等気になる方がいて反対者もなかなかいた状況であったが、先般市長から地元での説明、そして事業推進の表明が出てからは、地元でも特に反対意見は出ていないので、事業を推進してほしい。また、地元財産区、林業への手助けをしていただけたらと思っている。</p>
山田部会長	<p>御嶺地区での反対について、その後いかがか。</p>
永樂委員	<p>現在、表立った反対の動きはない。地元自治会総会でも、風車についての反対意見は出ていない。</p>
山田部会長	<p>上榎地区自治会代表の亀岡委員にお願いします。</p>
亀岡委員	<p>3年ほど前から建っている風車について、上榎から見える風車は5基であるが、当初は騒音が出ていた。その後、騒音測定や対策をしたため、今のところ生活に支障を来すことはないのではないかということで同意している。今後、</p>

東側にさらに8基の計画であるが、音が出ない限り問題はないのではないかと
の了解を上楨地区住民から得ている。

山田部会長

事業者として陶久委員に願います。

陶久委員

事業者としては、皆さんの意見を拝聴し、計画に反映したいと考えている。

青木委員

この計画は、住宅までの距離が十分に取れている。音に関しても影響は少ない
と考えている。

山田部会長

畑地財産区 山中委員に願います。

山中委員

今回の事業に対しては、よい事業であると思っている。反対の考えはない。
宇和島市はこの事業に対してどう思っているのか意見を聞きたい。

永楽委員の話を知ると、御楨地区の反対は解決しているようだが、綺麗に解
決したのか、聞きたい。

畑地地区、上楨も含めて事業者は同意書までは不要だと思うが、挨拶回りな
どの対応はしているのか、聞きたい。

電源開発の事業で先に風車が建っているが、騒音問題があった。今は、その
問題についても騒音防止設備対策を行い解決したと聞いている。後から建設し
た3基については、音が静かであるので、今事業についても、建設する風車に
ついては、騒音の出ない良い風車を建ててもらいたい。

低周波、騒音を気にして反対している人がいるが、問題がないのか確認をし
たい。

風車から住宅との距離について、他地域はどうなのか説明願いたい。

国有林の払い下げが言われているが、実現可能なのか。

市に基金として500万円を寄付するという話であるが、旧津島町が使うの
か、宇和島市で使うのか。三間や吉田は関係ないと思うので、津島の地元に協
賛金として充ててもらいたいと思う。例えば闘牛推進資金に充ててもらった
り、津島町活性化のために、祭りで何かをしてもらおうとか、御楨だけではなく、
畑地地区、下畑地地区、上畑地地区全体に送電線を引いたり、埋設するに
しても迷惑をかけると思うので、畑地地区にも挨拶をして、賛成をしてもら
っているのかははっきりしておきたいと思う。

よろしく願いたい。

事務局

現在事務局として把握できている部分についてお答えする。

市としての考えとしては、3.11の事故以降、原発に代わるエネルギーの
一つとして再生可能エネルギーが注目されている。市としても再生可能エネル

ギーの導入促進は、重要な施策の一つであると考えている。

既存の風車において、当初騒音問題があったが、事業者が対策を行い、現在は騒音に対する苦情は届いていない。業者の努力もあったものと考えている。

反対運動については、無くならないと思うが、地域の住民の方の理解を得ながら事業を推進していくべきであると考えている。

既存の風車から近隣住宅までの距離は、最短で1 km弱であるが、横川正木ウィンドファームは、2 kmを超えており騒音の問題は少ないと考えている。

500万円の基金については、農山漁村再生可能エネルギー法の中に、地元の農林漁業に資する取り組みが謳われており、何にでも使用できるわけではない。事業実施までにはまだ時間があるので、基金の活用方法については、市の中で十分協議をして、良い活用方法を検討していきたい。

陶久委員

配付してある住民説明会資料8ページをご覧いただきたい。距離について説明させていただく。

石原地区が最短であり、約2.2 km確保している。全国的な目安としては、風車からの距離は1 kmとされている。今回その倍以上の距離を確保している。より住民への影響は少ないものと考えている。

同資料最終ページの騒音、低周波音については「一般的な住宅地等で観測されるレベルである」との予想である。

同資料6ページであるが、景観に配慮するため、当初計画10基を8基に減らし、使用する風車を日立製から、ドイツのシーメンス社製に変更した。この機種は、より騒音に配慮した機種となっている。また、基数を減らし、位置を変更することにより、御嶺地区から見える風車の基数も減らしている。

地元への対応状況については、4年にわたり御嶺、上嶺、愛南町の住民と話をしてきた。当初は強く反対される方もいた。理由としては、よくわからない低周波音についての反対が強かった。現在は協定書を取り交わし、本事業について自治会としては賛同してもらっているものと認識している。地元とも長い付き合いとなるため、地元の意見を真摯に受け止め、誠意を持って対応したい。

国有林の払い下げについては、今協議会の結論内容だけでなく、愛媛森林管理署及び、四国森林管理局との協議が必要であり、その準備を進めているところである。この件については、市との話も必要である。協議会内でも意見をいただきたい。

基金の使用方法について、先ほど事務局から説明があったとおり、地元の農林漁業に資することが必要であり、その中で地元の皆さんに納得していただける案、特に津島に対し具体的に何が提案できるのか。闘牛等の観光への後援、農林漁業の活性化への貢献を願っており、協議会の中で意見をいただきたいと考える。

- 山田部会長 市役所の委員から何かないか。
- 和田委員 地元可愛され、地元理解されることが必要である。この地区は景観もよく、貴重な動植物も多く、それに対し配慮いただいていると思う。
地元の農林漁業への貢献、闘牛をはじめ観光につながる案は良いと思う。
- 黒田委員 一点だけ確認をさせていただきたい。売電収入の一部を基金に500万円支払うということであるが、収入の割合ではなく一定額としている理由を聞かせてほしい。
- 陶久委員 前回の全体協議会でお渡しした資料の中で、売り上げ見込みの提案をさせていただいた。年間の売電収入見込みを約13億円としている。その1%である1,300万円を還元することを考えている。
ただし、愛南町も関連しており、宇和島市と同様に愛南町にも協議会ができている。両市町に対して貢献が必要であり、案分した結果500万円ずつを支払い、差額の300万円については、基金以外の貢献を考えており、最終的には年間1,300万円以上の貢献を考えている。
現在は、両市町で合計1,300万円を考えているが、協議会内で詳細について意見をいただき、決定したい。
- 山中委員 宇和島市と愛南町、それぞれ500万円ということか。
- 陶久委員 そう考えている。
- 山中委員 自治体の規模が違う。そこは差をつけるべきではないか。
- 陶久委員 人口規模等を考慮に入れるかどうか、持ち帰り再考したい。
- 上田委員 何点か質問をしたい。回答を願いたい。
①地元への還元、地元への配慮、建設工事が始まってからの道路等の安全管理について伺いたい。
②法令に関する問題のクリア方法について。次回の会で提示願いたい。
③愛南町への配慮は必要である。行政としては重要案件であると考え。
④各事業者、自治体、地元等への情報の共有。地元である津島支所にも必要であると考え。
⑤トラブルがないよう、また発生時は事業者責任で解決していただきたい。
⑥固定資産税の配分。宇和島市と愛南町の案分についてはどうなっているの

か。

陶久委員

上田委員の質問について回答させていただく。

- ①地元への一層の配慮を肝に銘じたい。
- ②許認可の整備について、次回提示できるよう整理する。
- ③愛南町への配慮について、愛南町及び宇和島市とコミュニケーションをとるようにしたい。
- ④事業者同士の情報共有については、環境影響評価の手続きの中で、経済産業省、愛媛県からも指摘を受けている。事業者のみならず、情報共有を行うよう努力する。
- ⑤固定資産税については、十分に議論されていない。宇和島市・愛南町の案分について、行政側と話を詰めていきたい。

上田委員

事業と平行して市のPRについて、案や情報を提示していただけるとありがたい。

山田部会長

山田委員、何かないか。

山田委員

環境及び地元へ配慮して事業を進めていただきたい。

山田部会長

他に意見はないか。なければ次の協議に移る。事務局に説明を求める。

事務局

提案書の項目ごとの協議について説明する。

資料1、項目4「再生可能エネルギー発電設備の整備と併せて促進する農林漁業の健全な発展に資する取組に関する事項」について説明。

陶久委員

工事用道路を林道として使用する件については、愛媛森林管理署との話ができる状況になっていない。現時点では、事業者としての希望とさせていただきたい。結論は、今後の愛媛森林管理署及び四国森林管理局との協議による。

市のPR、災害対策への貢献については、前回の協議会で説明したとおりで考えている。

山田部会長

今の説明について、質問等ないか。

山中委員

電源開発の事業で道ができて、山に価値ができた。林業を行うことについてよい山になった。篠山への道も4t車が入れるような林道が整備されれば、すばらしい山になると思う。

堀田委員	山に入ることができる林道にしておいてもらわないと現実として使えない。スーパー林道のような擁壁があると山に入れない。山に入っていける脇道を作れるような道にしてほしい。
山中委員	中途半端な道ではないのであろう。
陶久委員	中途半端な道ではない。作業林道との接続については、愛媛森林管理署及び四国森林管理局との協議により決定する。 出来る限り、地元の意見を反映させたい。
山田部会長	他に意見、質問はないか。事業者においては、十分に考慮して事業を進めていただきたい。次の項目説明を事務局に求める。
事務局	資料1、項目5「自然環境の保全との調和その他の農山漁村における再生可能エネルギー電気の発電の促進に際し配慮すべき重要事項」について説明。 続いて資料2「環境影響評価法について」説明。 特に、今事業は総出力が10,000kw以上を超えることから、環境影響評価法の対象事業（第一種事業）であり、平成28年12月27日に告示された経済産業大臣勸告に基づく、環境影響評価書を作成中であり、その中で専門家、有識者等に意見を伺いながら対応しており、事業者の環境影響評価書の届出をもって、代替することが可能と考えている。
山田部会長	今の説明について、意見、質問等ないか。
陶久委員	環境影響評価書の取りまとめについては、愛媛森林管理署及び四国森林管理局との協議の流れを経て提出となるため、現時点ではいつになるかはっきりしていない。いかがすればよいか。
事務局	基本計画の中に「評価書の届出をもって代替する」と記載することとなる。中国四国農政局及び、先進地であるつがる市等の基本計画により確認済みである。
陶久委員	環境影響評価書は、出来次第宇和島市に提出することとする。
山田部会長	その他、意見、質問等ないか。
全委員	(意見なし)

山田部会長	今の説明の方法で進めて良いか。
全委員	異議なし。
事務局	同第5項の(2)、(3)も同様としたい。よろしいか。
全委員	異議なし。
山田部会長	次の項目説明について、事務局から説明を求める。
事務局	第7項「再生可能エネルギー発電設備の整備を促進する区域において整備する再生可能エネルギー発電設備の撤去及び原状回復」について説明。 陶久委員、補足説明はないか。
陶久委員	特にない。
山田部会長	今の説明について、意見、質問等はないか。
山中委員	電源開発では20年契約を締結し、その後継続すると聞いているが、ガイアパワーについてはどうか。
陶久委員	20年を基本とするが、地元の同意を得ることが可能であれば、事業継続をしたい。
山中委員	継続の意思があるのなら、最初から契約に盛り込むべきではないか。
陶久委員	当初の提案に20年で撤去となっている。しかし、継続の意思はある。そのための資金積み立ては行う。地元、国等の許可が得られれば継続したい。
山田部会長	事務局に検討を願う。その他、意見、質問等ないか。
全委員	(意見なし)
	(3) 今後のスケジュール
山田部会長	今後のスケジュールについて、事務局から説明を求める。
事務局	前回協議会の後、議事録(案)を各委員に送付させていただいた。特に

意見等無かったため、市のホームページで公表する。今回についても同様の手順で行う予定である。

本日の意見、事業者からの提案について、変更案を次回の部会で提示したい。この風力発電部会での合意を目指し、次回以降協議願いたい。

次回開催は、6月市議会開催のため7月を予定している。

山田部会長

スケジュールについて質問はないか。

山中委員

日程についてであるが、協議を早く進めてなるべく早く結論を出すようにしてはいかがか。

事務局

山中委員の言われるとおりで。ただし、各委員への連絡、資料の確認に要する時間をいただくため、最低でも2週間は空けたい。

また、先ほど申したように今月は市議会開催月であるため、次回は7月としたい。市としても迅速に進めていきたいと考えている。

山田部会長

他に意見、質問等はないか。

陶久委員

次回は、7月3日の週と考えるとよいか。

事務局

なるべく早く日程調整を行う。

山田部会長

協議事項について、他に意見、質問等はないか。

山中委員

J Rさんも関わっている。J Rさんの力を借りて、観光に力を入れていただきたい。

青木委員

現在、J R四国がキャンペーンを行っている。具体的には、今後検討を行いたい。

和田委員

風力発電所が完成したとき、篠山などの観光資源が近くにあるため、人は来ると思う。発電所に人は常駐しているのか。風車の説明や、施設見学など可能なのか。

青木委員

他の事例であるが、秋田の風力発電所では人は常駐していない。展望台が設置してある例はある。

和田委員

人を常駐させて、観光資源とすれば先進事例となる。是非考慮いただきたい。

山中委員	完成してからのことにはなると思うが、J Rさんには課題として是非考えて いただきたい。篠山には人は呼べると思う。
山田部会長	他に、質問、意見はないか。
全委員	(意見なし)
	3 その他
山田部会長	その他について、何か意見等ないか。
事務局	協議会委員謝礼金の入金予定日等について説明。
	4 閉会
山田部会長	閉会を宣言。